



宇都宮大学大学院地域創生科学研究科設立記念シンポジウム

SDGs時代の大学院教育のあり方

～持続可能な豊かな地域社会の創生を支えるために～



持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」とは？

2015年9月に国連サミットで採択された『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』で記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な開発のための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (LEAVE NO ONE BEHIND) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

宇都宮大学は2019年4月に、全学の修士課程を文理融合・分野融合を推進する2専攻体制の大学院「地域創生科学研究科」に改組しました。大学院は持続可能で豊かな地域社会の創生を支える人材養成を目指し、SDGsにもコミットしています。一方で、宇都宮大学はSDGsにもとづいたTHE University Impact Rankings 2019において世界で101-200位に、国内では同率4位にランクインしました。そこで本シンポジウムは、本学の創立70周年及び大学院設立を記念してSDGsの面から大学院の在り方をとらえてみたいと考えます。



基調講演

「SDGs時代の大学院教育の役割と課題
— 地域創生のために何が必要か? —」
根本 かおる 国連広報センター所長

2019年5月22日 (水)

14:30 ~ 17:40

パネル・ディスカッション

「SDGs時代の大学院の使命と持続可能な地域社会の創生」

講演会場

峰キャンパス
1号館1E11教室

副会場

陽東キャンパス
3号館 321 教室
3号館 331 教室

- 夏秋 知英 宇都宮大学理事 (研究・将来構想担当)
- 大森 宣暁 宇都宮大学地域創生科学研究科 教授
- 佐藤 剛史 宇都宮大学地域創生科学研究科 准教授
- 西山 未真 宇都宮大学地域創生科学研究科 准教授
- 根本 かおる 国連広報センター所長
- <司会>
重田 康博 宇都宮大学地域創生科学研究科 教授

全体司会

高橋 若菜 宇都宮大学地域創生科学研究科 准教授

根本 かおる 国連広報センター所長



東京大学法学部卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院より国際関係論修士号を取得。1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。ジュネーブ本部では政策立案、民間部門からの活動資金調達のコーディネートを担当。WFP国連世界食糧計画広報官、国連UNHCR協会事務局長も歴任。フリー・ジャーナリストを経て2013年8月より現職。2016年より日本政府が開催する「持続可能な開発目標（SDGs）推進円卓会議」の委員を務める。著書に『難民鎖国ニッポンのゆくえ - 日本で生きる難民と支える人々の姿を追って』（ポプラ新書）他。

夏秋 知英 宇都宮大学理事（研究・将来構想担当）

東京大学大学院農学系研究科農業生物学博士課程中退、農学博士。専門は植物病理学、ウイルス学。バイオサイエンス教育センター長、農学部長、日本植物病理学会会長、など歴任。この4月より現職。著書に植物ウイルス大辞典（朝倉書店、分担）、Development of a LAMP assay with a portable device for real-time detection of begomoviruses under field conditions (2019, Journal of Virological Methods 共著) などIF付論文60編、他。

大森 宣暁 社会デザイン科学専攻土木工学プログラム 教授

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了、博士（工学）、2014年9月より宇都宮大学勤務。専門は都市交通計画、人の活動・交通行動分析、バリアフリーのまちづくり。現在、宇都宮市都市計画審議会会長、栃木県都市計画審議会委員、国土交通省子育てにやさしい移動に関する協議会委員、他。著書に、『市民生活行動学』（土木学会、2015年、共著）、『Spatial Data Infrastructure for Urban Regeneration』（Springer、2008年、共著）、他。

佐藤 剛史 工農総合科学専攻物質環境化学プログラム 准教授

東北大学大学院工学研究科化学工学専攻博士後期課程修了、博士（工学）、東北大学研究員、（独）産業技術総合研究所特別研究員を経て現職。栃木県リサイクル製品認定審査会委員、他。専門は化学工学、超臨界流体工学、膜反応工学。現在は天然物からの環境調和型化学原料回収プロセスや水電解による高効率水素製造・貯蔵プロセスの開発等に従事。著書『超臨界流体を用いる合成と加工』（シーエムシー出版、2017年、共著）、他。

西山 未真 社会デザイン科学専攻農業・農村経済学プログラム 准教授

東京農工大学連合農学研究科博士課程修了、博士（農学）、専門は農業経済学、農村社会学。千葉大学大学院准教授を経て現職。食と農の結びつきから都市と農村の関係変化に注目し研究を行っている。主業績に、『農村と都市を結ぶソーシャルビジネスによる農山村再生』（筑波書房2015年、単著）、『世界の田園回帰—11カ国の動向と日本の展望』（農文協2017年、共著）、“The chisan-chisho movement: Japanese local food movement and its challenges”(Springer2008年、共著)他。

重田 康博 社会デザイン科学専攻グローバル・エリアス・デザインプログラム 教授

ロンドン大学大学院東洋アフリカ研究所(SOAS)開発学専攻修了（開発学修士）、北九州市立大学大学院社会システム研究科博士後期課程修了、博士（学術）。専門は国際開発研究、国際NGO研究。現在、国際協力NGOセンター（JANIC）政策アドバイザー、国際協力機構（JICA）環境社会配慮助言委員、他。著書『激動するグローバル市民社会—「慈善」から「公正」への発展と展開』（明石書店、2007年）、他。

高橋 若菜 社会デザイン科学専攻グローバル・エリアス・デザインプログラム 准教授

博士（政治学）。専門は地球環境政治・比較環境政治。（財）地球環境戦略研究機関研究員（1998-2002）、 Lund 大学国際環境経済産業研究所客員研究員（2012）。現在、中央環境審議会循環型社会部会臨時委員、他。主著に『越境大気汚染の比較政治学』（千倉書房、2017）、主編著に『原発避難と創発的支援』（本の泉社、2016）、共著に Routledge Handbook of Japanese Foreign Policy (2018)、他。

【プログラム】

全体司会

高橋 若菜

宇都宮大学地域創生科学研究科・准教授

開会挨拶 14:30-14:35

石田 朋靖

宇都宮大学学長

講師紹介 14:35-14:40

高橋 若菜

宇都宮大学地域創生科学研究科・准教授

基調講演 14:40-16:00

「SDGs時代の大学院教育の役割と課題

— 地域創生のために何が必要か? —」

根本 かおる

国連広報センター所長

休憩 16:00-16:10

パネル・ディスカッション 16:10-17:30

テーマ:「SDGs時代の大学院の使命と持続可能な地域社会の創生」

夏秋 知英

宇都宮大学理事(研究・将来構想担当)

大森 宣暁

宇都宮大学地域創生科学研究科・教授

佐藤 剛史

宇都宮大学地域創生科学研究科・准教授

西山 未真

宇都宮大学地域創生科学研究科・准教授

根本 かおる

国連広報センター所長

<司会>

重田 康博

宇都宮大学地域創生科学研究科・教授

閉会挨拶 17:30-17:40

川田 重夫

宇都宮大学地域創生科学研究科長

参加お申込み

シンポジウム（峰キャンパスのみ）の一般参加は無料ですが、定員に達し次第、お申込みを締め切らせて頂きます。

参加希望の方は、ご氏名及びご連絡先を下記の担当あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

なお、当日参加（峰キャンパスのみ）も可能ですが、会場（収容人員）の都合により参加できない場合もありますのでご了承願います。

<本件担当>

国立大学法人宇都宮大学 地域創生科学研究科 総務係 E-mail : gss@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp TEL 028-649-8157・8158・8169 / FAX 028-649-5095